

食育に関するアンケート調査について

1 目的

「いわき市食育推進計画」（以下「計画」という。）の数値目標のうち、既存事業等において現状値及び達成度の把握が困難な項目等について、簡易なアンケート調査を実施し、その結果を分析することにより、計画の進行管理及び評価に資する。

2 調査項目（※については、平成 24 年度から追加した項目）

- (1) 食育に関心を持っている市民の割合
- (2) 朝食を食べる市民の割合
- ※(3) 家族構成
- ※(4) 朝食を家族と一緒に食べる市民の割合（家族と同居している方のみ）
- ※(5) 夕食を家族と一緒に食べる市民の割合（家族と同居している方のみ）
- (6) 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合
- (7) 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合
- (8) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を認知している市民の割合
- ※(9) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合
- ※(10) 噛み方等の食べ方に関心がある市民の割合
- ※(11) よく噛んで味わって食べることを実践している市民の割合
- ※(12) 農林漁業体験を経験した市民の割合
- (13) 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合
- (14) 日頃の食生活の中で不安を感じていること

3 調査対象

(1) 母集団

本市事業に関連したイベント等の来場者（市民）とする。

なお、イベント内容や来場者層の属性等により、調査結果に偏りが生じないように、調査会場は、分野・内容・世代等に配慮した。

(2) 標本数

イベント等の規模に応じ、1 調査会場につき 50 人～100 人程度とし、合計 500 人～600 人程度を目標とし実施した。（※ 詳細については、別添 1・2 のとおり）

	男性	女性	計	割合 (%)
18 歳以下	41	67	108	23%
19 歳～39 歳	45	85	130	28%
40 歳～64 歳	47	111	158	34%
65 歳以上	31	38	69	15%
計	164	301	465	100%

4 調査方法

原則として、調査員による個別聴取。

なお、アンケート協力者（回答者）に対しては、謝礼及び食育の普及啓発を目的に、簡易な食育関連グッズを配布。

平成24年度食育に関するアンケート調査に係る実施状況

実施に係る留意点

- 出来る限り幅広い年齢層に対しアンケート調査を実施。(若年層に対する調査に配慮する。)
- イベントに限らず、街頭啓発等に併せたアンケート調査を実施。
- 集客数の規模に限らず幅広いイベントにおいてアンケート調査を実施。

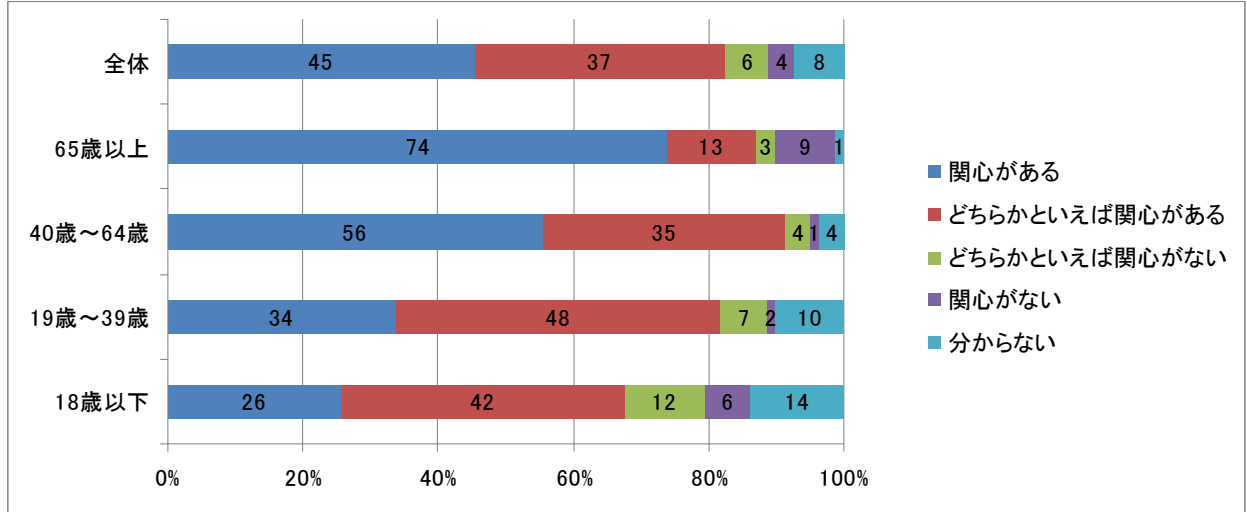
No.	イベント等名称	会 場	実施年月日	※ アンケート回収数		
				男性	女性	計
1	フラワーセンター サマーフェスティバル	フラワーセンター	H24.7.21(土)	27	42	69
2	フラガールズ甲子園	いわきアリオス及び いわき中央公園	H24.8.19(日)	23	56	79
3	県立いわき光洋高等学校 (一・二年生)	—	H24.7	34	44	78
4	【街頭啓発】 ・食生活改善普及運動及び 健康増進普及月間(9月) ※マルトの健康相談会開催時 に合わせ実施	マルト中岡ショッピングセンター 出入口	H24.9.25(火)	13	40	53
5	サイクルフェスティバル	21世紀の森	H24.9.30(日)	30	52	82
6	いわき明星大学学園祭	いわき明星大学敷地内	H24.10.20(土)	37	67	104
アンケート回収数合計				164	301	465

平成24年度食育に関するアンケート調査結果について

1 食育に関心を持っている市民の割合

「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答している市民の割合については、全体では 82%であり、「いわき市食育推進計画」に設定されている目標値 90%以上を下回った。

特に若い世代(青年期以下)の関心が低い。今後は、若い世代の関心度を高めることが必要と思われる。

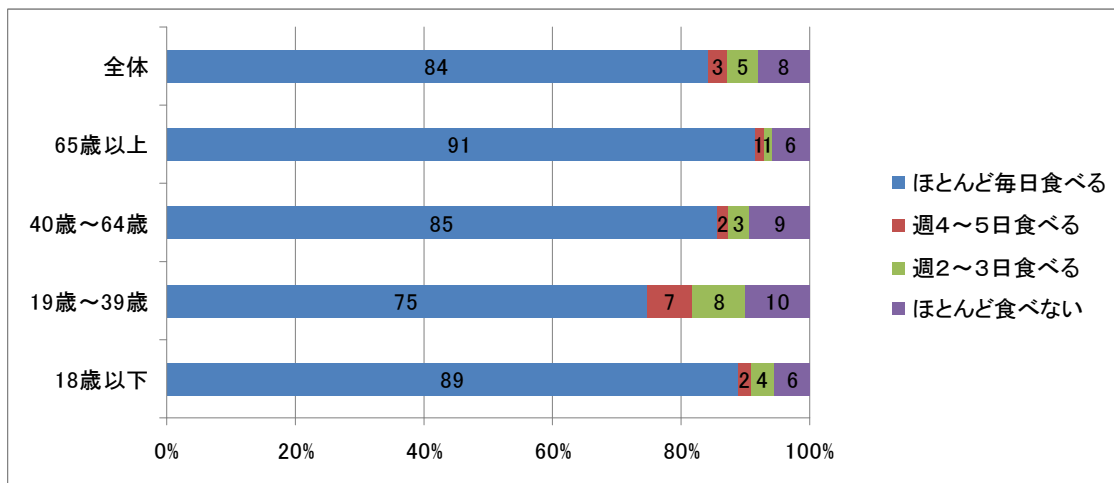


(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)
「食育に関心を持っている市民の割合」 90%以上

2 朝食を食べる市民の割合

朝食を毎日とっている人は、全体では 84%であるが、39 歳以下の世代に朝食をとらない人が多い。仕事や単身生活などで生活習慣が乱れやすくなるからであるのか、この世代及びその前の世代に重点的に働きかけをしていく必要がある。

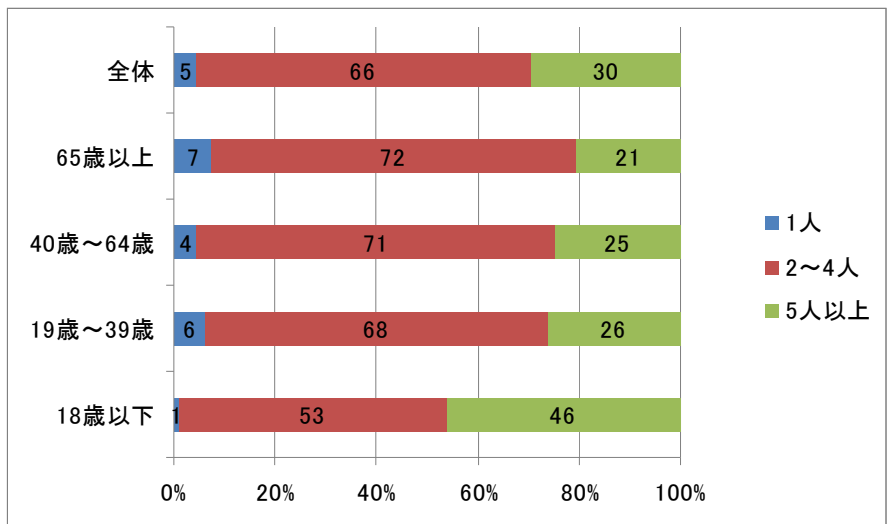
目標値については、学童期及び青年期 I (19～29歳)は、「朝食を欠食する市民の割合」を0%、青年期 II (30～39歳)が5%以下となっていることから、朝食の必要性等について引き続き働きかけていく。



(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)「朝食を欠食する市民の割合」
学童・思春期(小学校入学～18歳) 0% 青年期 I (19歳～29歳) 0% 青年期 II (30歳～39歳) 5%以下

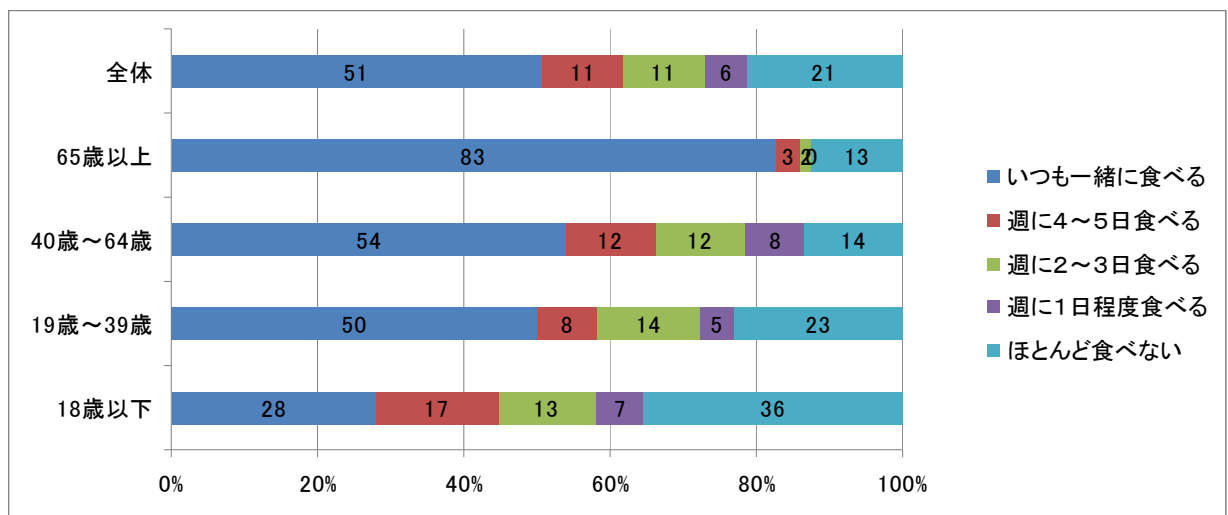
3 家族構成

青年期及び高齢期の単身世帯が多い。



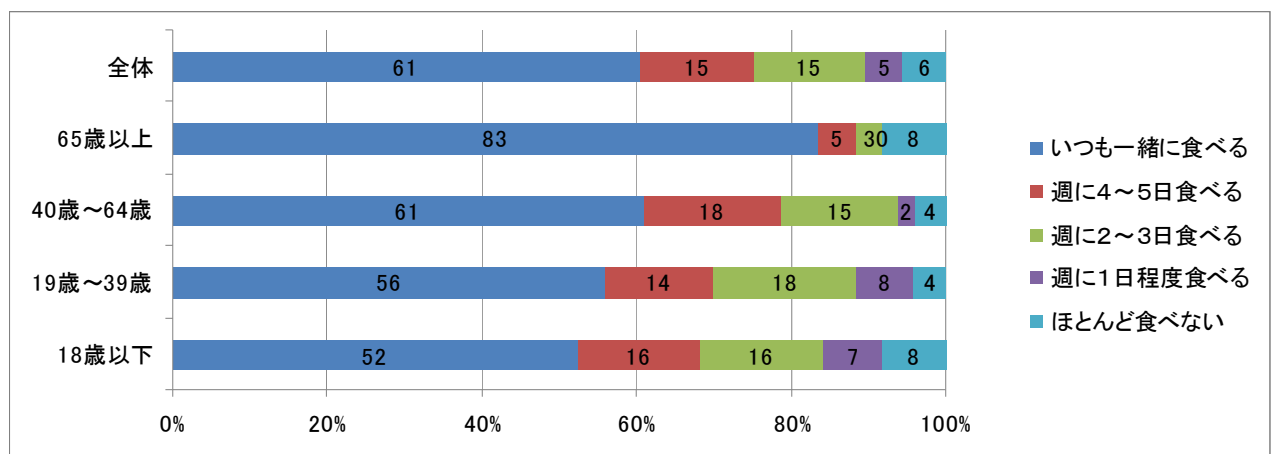
4 朝食を家族と一緒に食べる市民の割合(家族と同居している方のみ)

若い世代ほど一人で食べている状況が伺える。生活スタイルの違いからなのか、家族そろっての朝食を食べることが少ない。家族そろっての食事の楽しさを伝えていく必要がある。



5 夕食を家族と一緒に食べる市民の割合(家族と同居している方のみ)

朝食における共食の状況と同様に、若い世代が低い。しかし、朝食と比較すると夕食の共食の割合は多い。

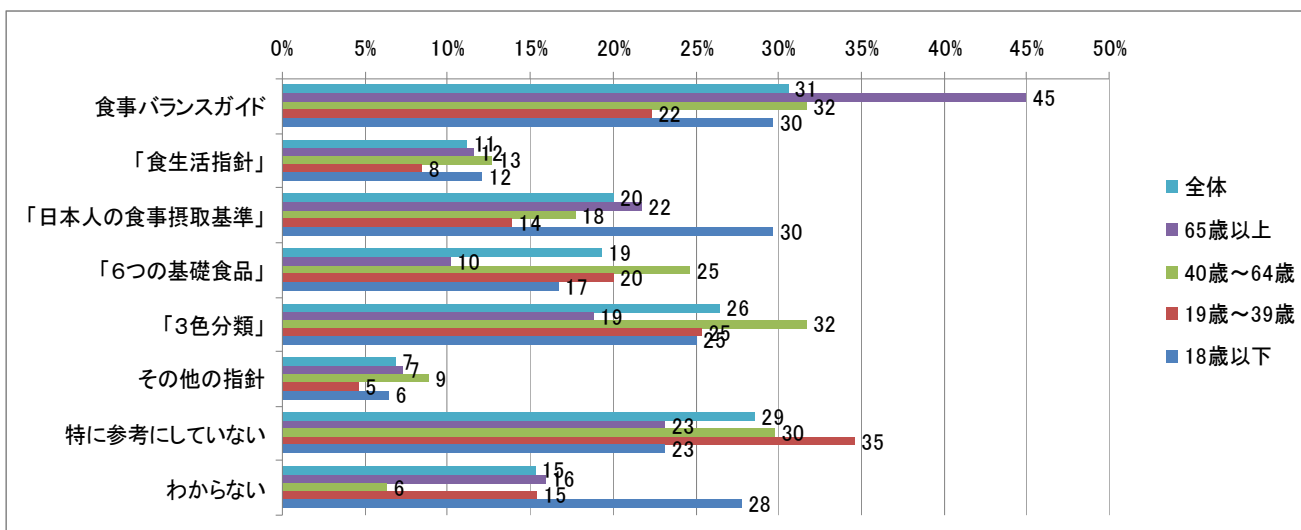


6 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合（複数回答）

さまざまな指針等の中で、「食事バランスガイド」を参考にしている人は多い。一方で、特に参考にしていないという方の割合も多い。

「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合の目標値 60%以上に対し、56%となっている。

なお、参考にしている指針等がある人は、数種の指針を参考にし、食生活を送っていることがわかった。

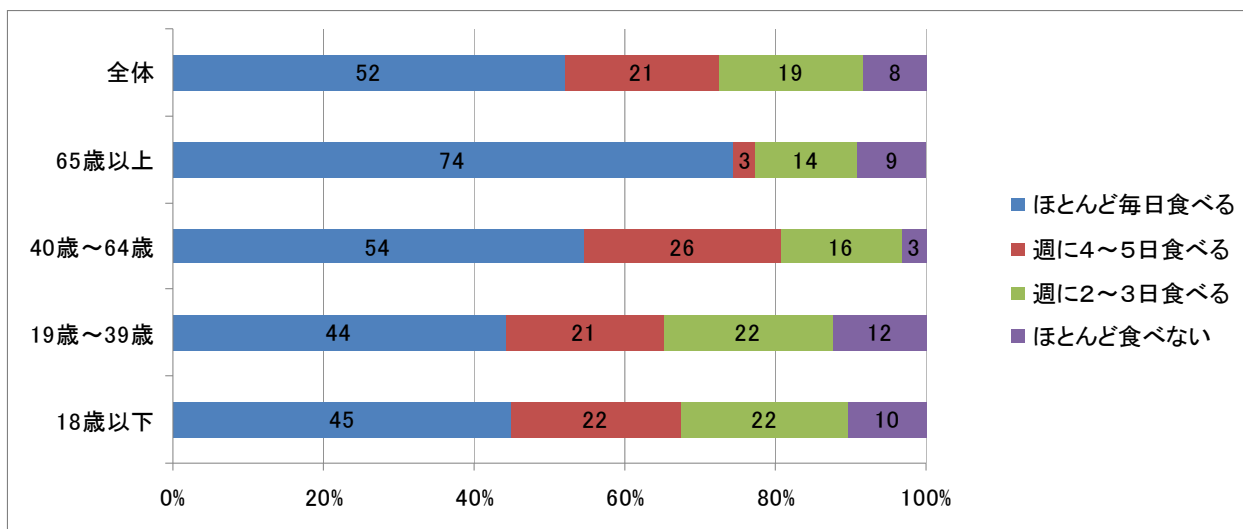


(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)
 『食事バランスガイド』等を参考に食生活を送っている市民の割合 60%以上

7 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合

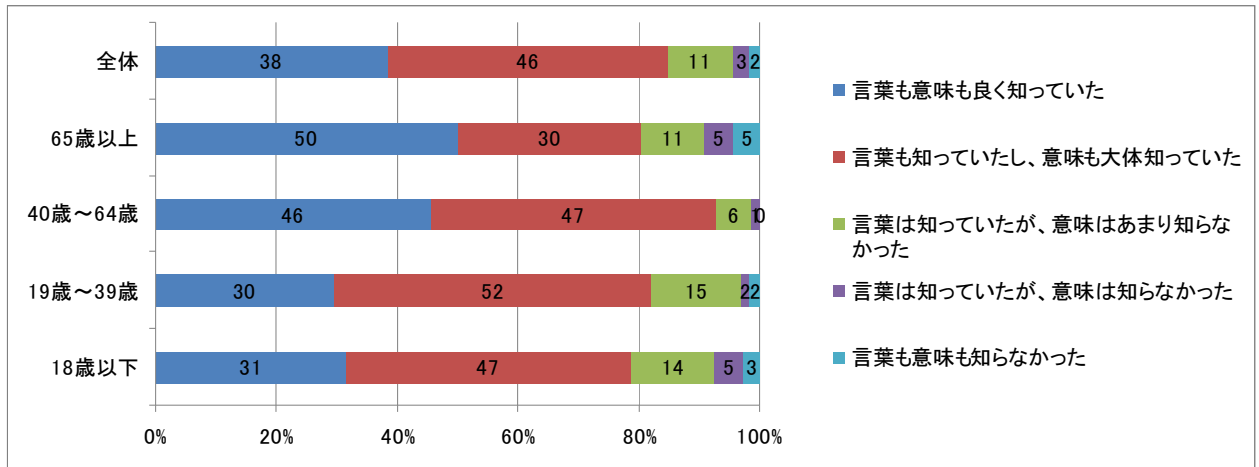
(主食・主菜・副菜を三つそろえて食べることが1日に2回以上ある頻度について)

青年期以下の若い世代において、バランスの良い食事の摂取頻度が少ない傾向にあり、栄養のバランスのよい食事についての情報や実践する方法について、啓発していく必要がある。



8 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している市民の割合

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の「意味まで知っていた」人の割合は、全体で 84%となっており、「メタボリックシンドロームを認知している市民の割合」は目標値 80%以上を超えている。



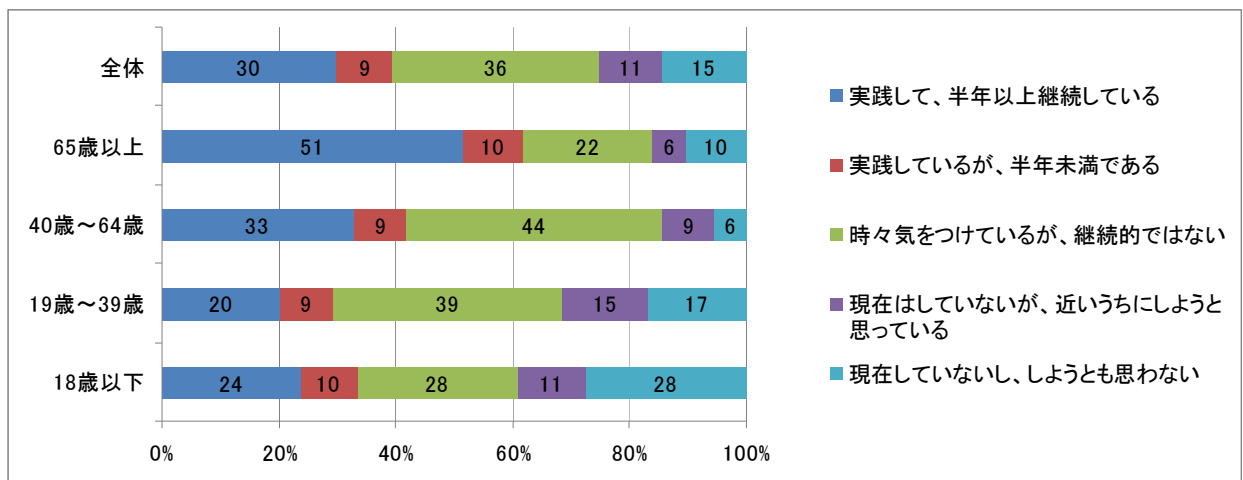
(参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)

「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している市民の割合」 80%以上

9 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合

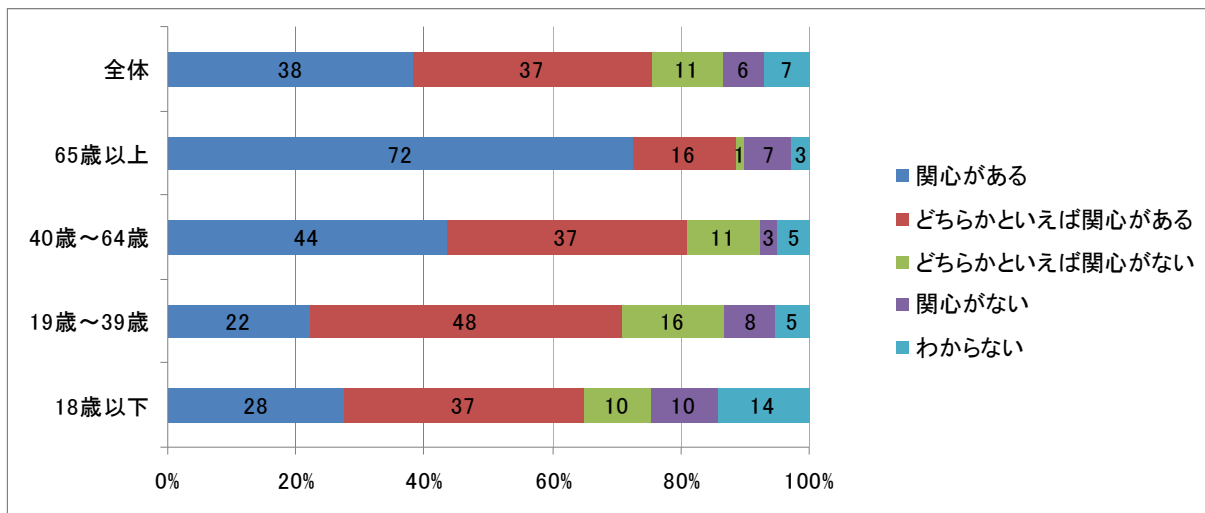
全体としては、「実践しており、継続している」(半年以上の継続・半年未満の継続)が 39%となっている。

39歳以下の世代に、「現在していないし、しようと思わない」という回答が多い。



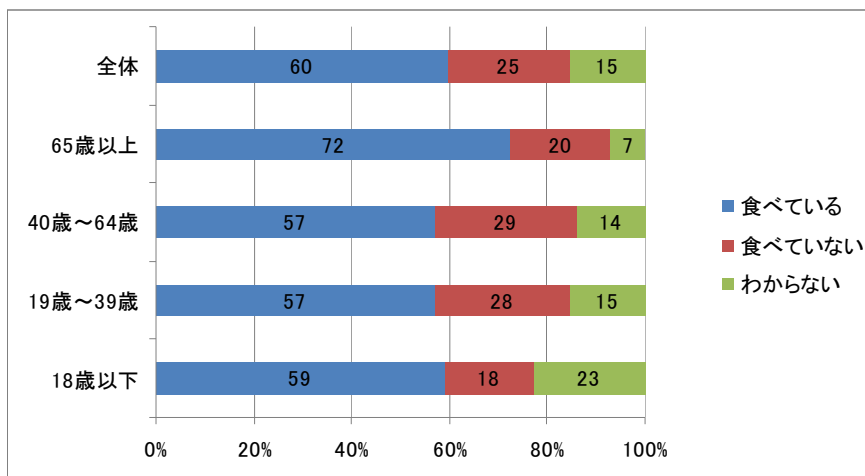
10 噛み方等の食べ方に関心がある市民の割合

全体としては、関心があると回答した人は、75%であった。やはり若い世代ほど低い傾向にある。

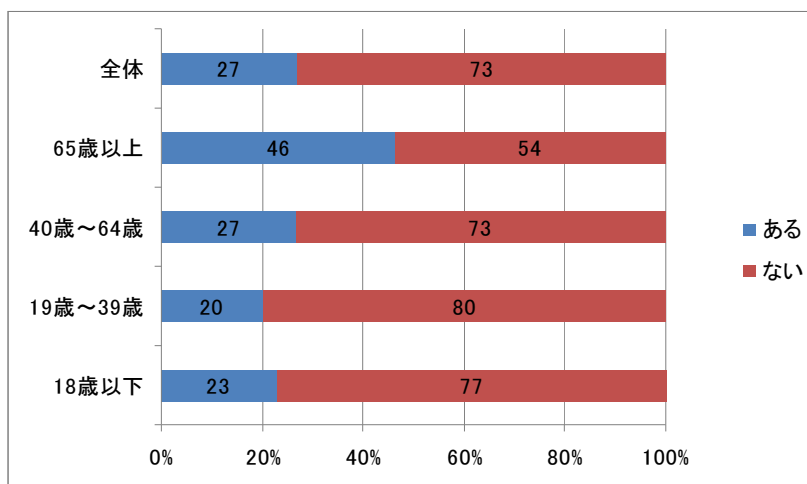


11 よく噛んで味わって食べることを実践している市民の割合

実践している人の割合については、全体としては60%となっている。顕著な世代間の差は見られない。

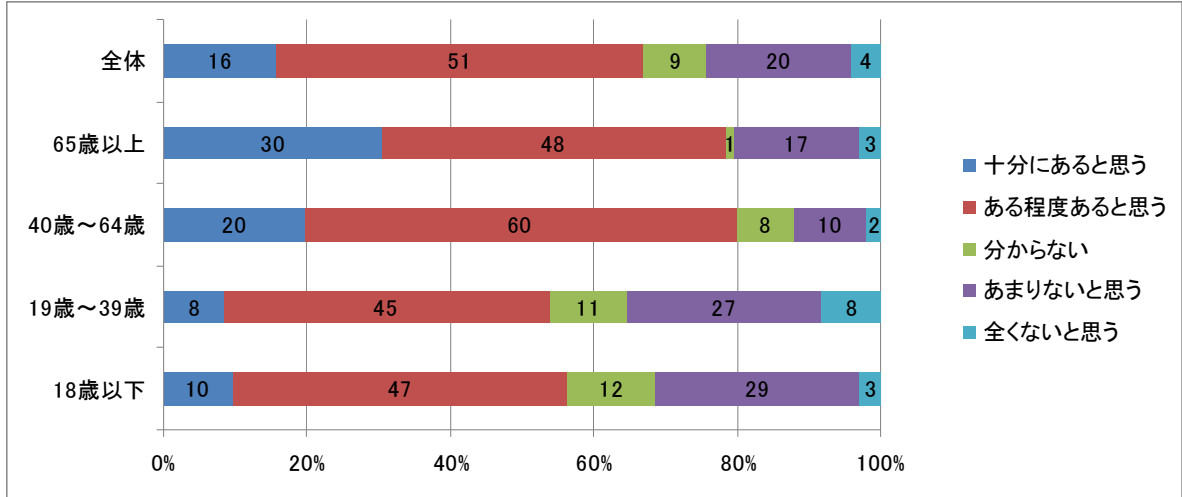


12 農林漁業体験を経験した市民の割合



13 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合

「健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだほうが良いかや、どのような調理が必要かについての知識があるか」については、「ある」と答えた人は全体で約7割となり、「食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合」は目標値 60%を超えている。また、今般の東日本大震災の影響により、食品の安全性について新たな課題ができた。

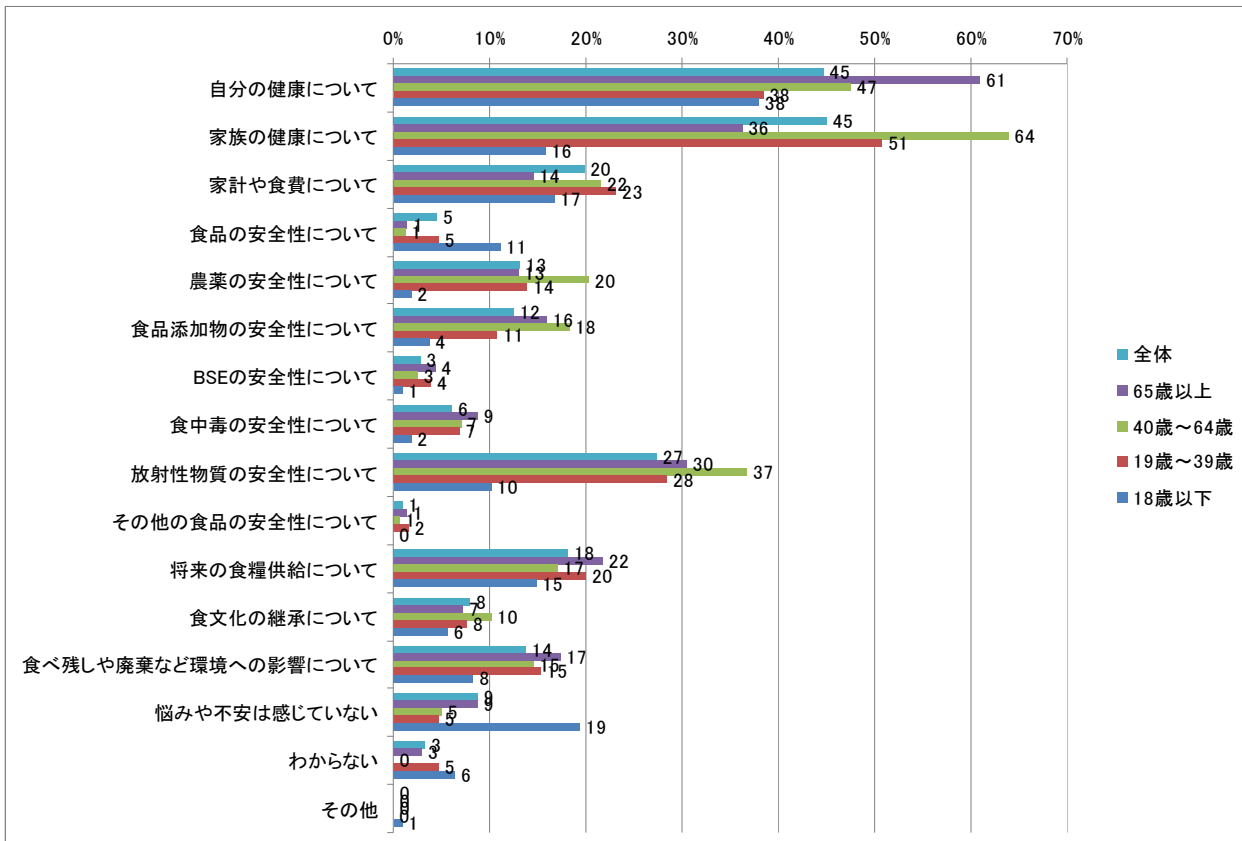


参考)いわき市食育推進計画 目標値(平成25年度)

「食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合」 60%以上

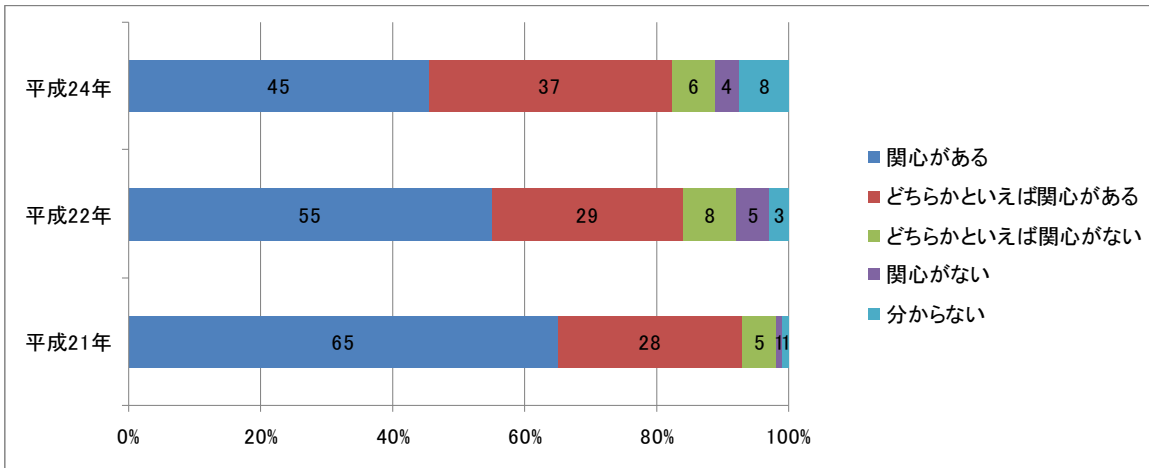
14 日ごろの食生活での悩みや不安について(複数回答で、回答数を表示)

悩みや不安の内容は、「自分の健康について」、「食品の安全性について」「将来の食糧供給について」が多い。「自分の健康について」はどの世代においても関心が高い。「食品の安全性について」は若い世代ほど関心が高く、特に放射性物質に関して、意識が高くなっている。

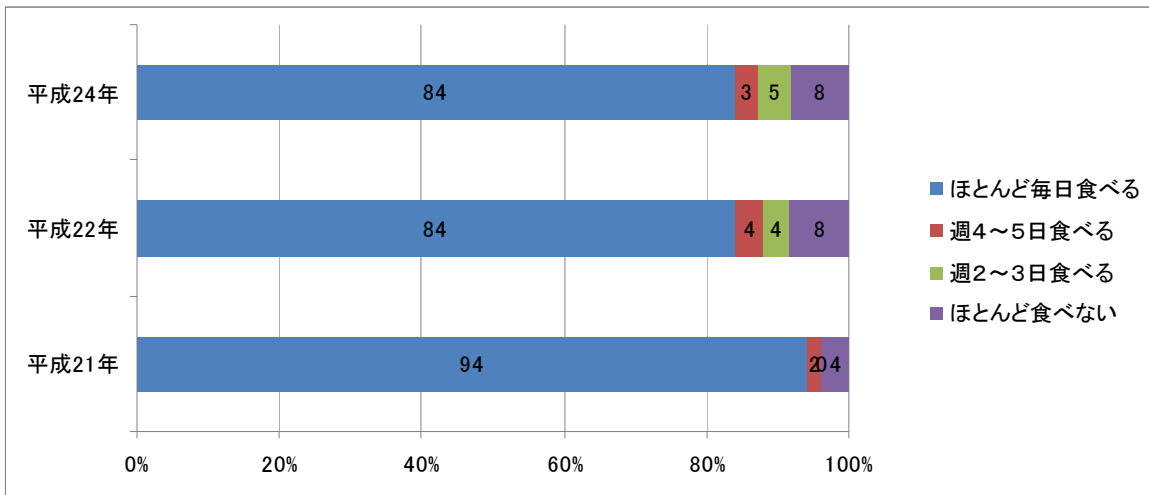


調査項目における年度推移

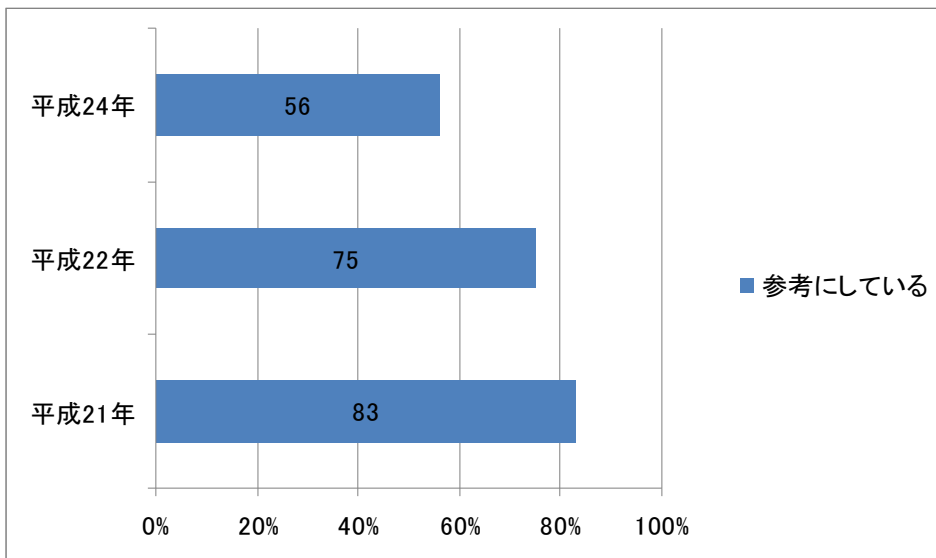
1 食育に関心を持っている市民の割合(平成 21～24 年の経過)



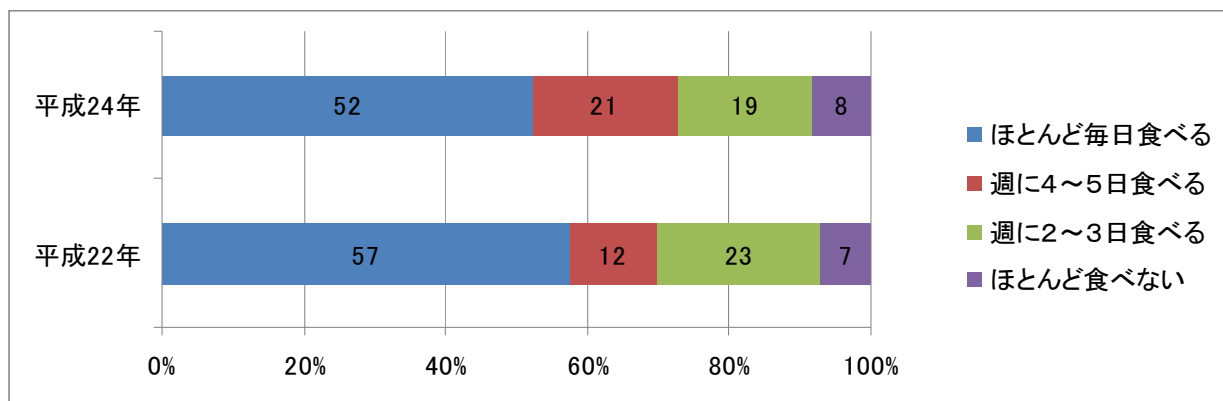
2 朝食を食べる市民の割合(平成 21～24 年の経過)



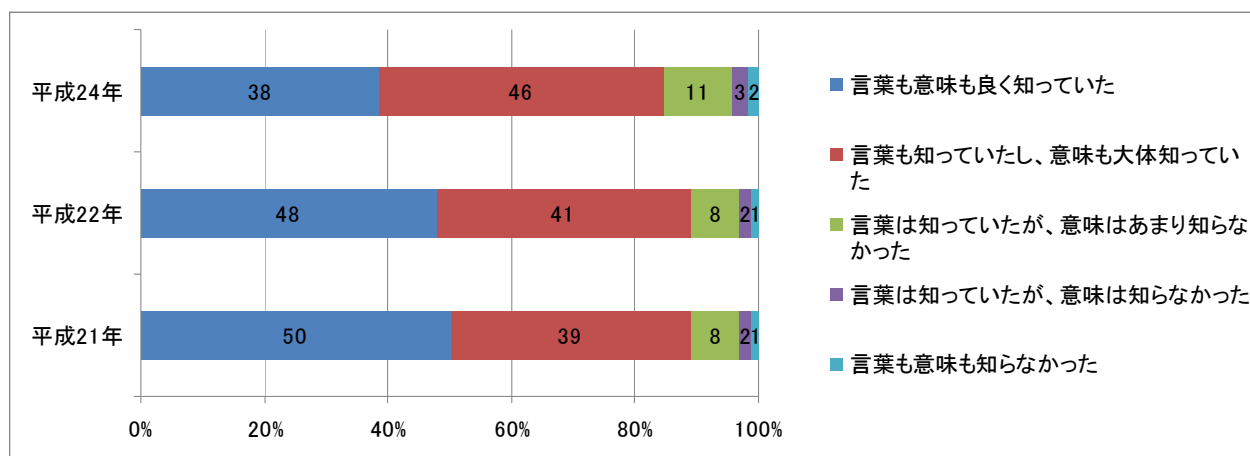
3 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合(平成 21～24 年の経過)



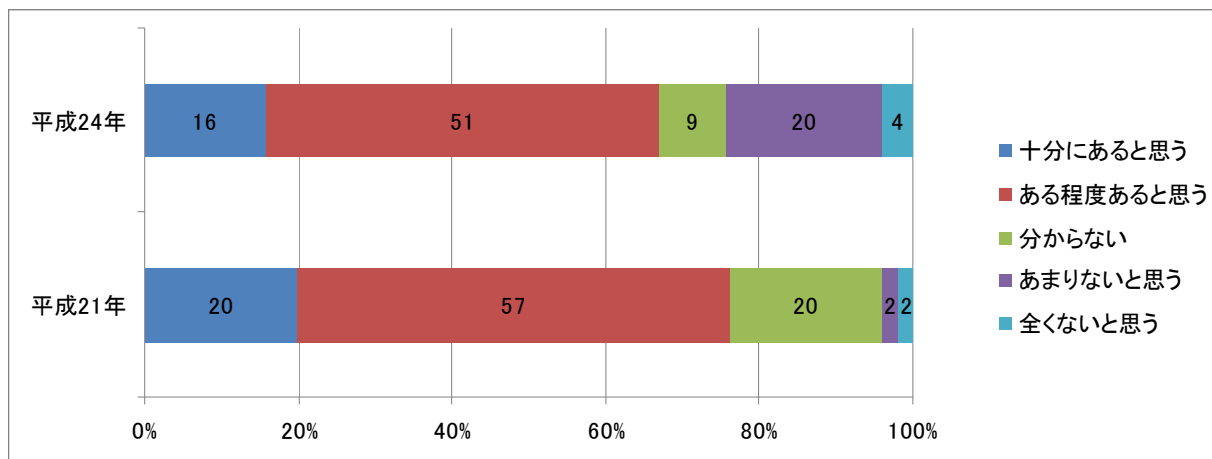
4 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合(平成 22～24 年の経過)



5 メタボリックシンドロームを認知している市民の割合(平成 21～24 年の経過)

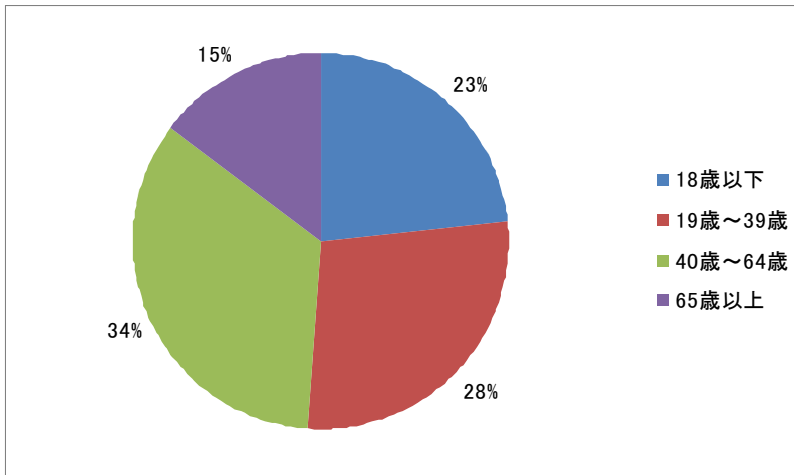


6 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合

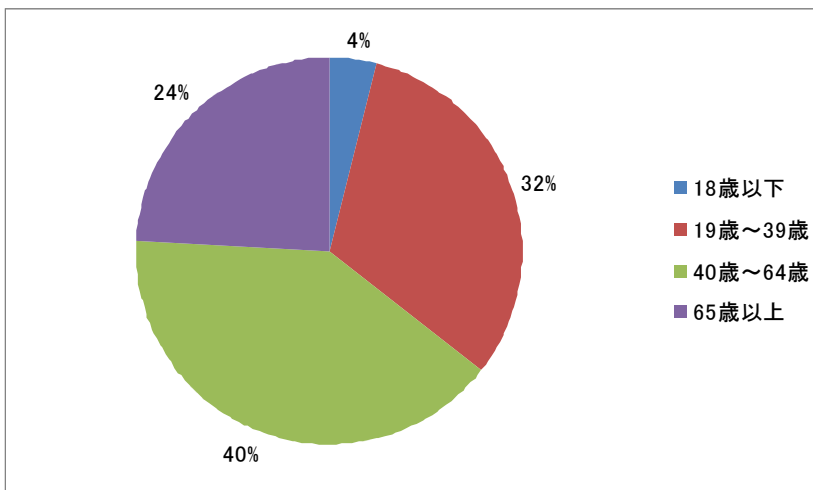


食育に関するアンケート調査対象者年齢構成

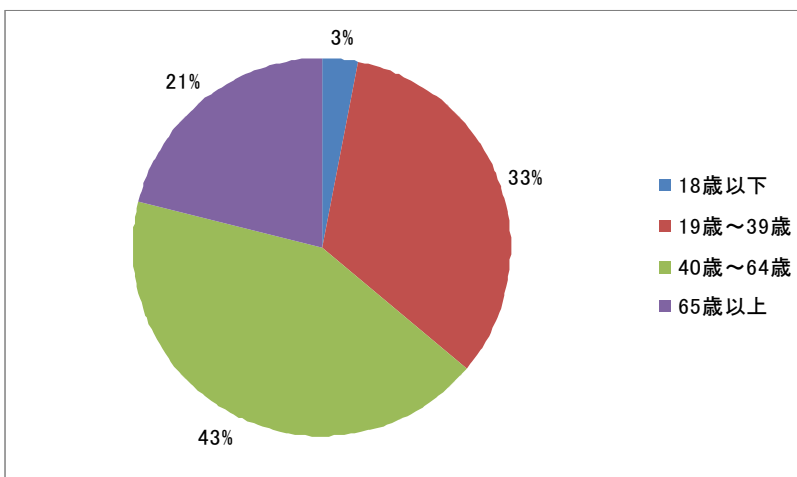
1 平成 24 年度



2 平成 22 年度



3 平成 21 年度



食育に関するアンケート調査

いわき市では、食を通じて、市民一人ひとりが生涯にわたって、健やかで、こころ豊かに楽しく生活できるまちづくりの実現を図るため、平成21年3月に策定した「いわき市食育推進計画」を策定し、これに基づき事業を進めております。本計画の評価の参考とするため、次のアンケート調査に御協力くださるようお願いいたします。

◎資料1を読んでお答えください。

資料1

「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身につけたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

Q1 あなたは「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。次の中から該当するものを1つだけ選んで□にご記入ください。

- | | | |
|-----------------|---------|----|
| ① 関心がある | ④ 関心がない | Q1 |
| ② どちらかといえば関心がある | ⑤ 分からない | □ |
| ③ どちらかといえば関心がない | | |

◎資料2を読んでお答えください。

資料2

「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類（日本茶・コーヒー・紅茶など）、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミンしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

Q2 あなたは、普段朝食を食べますか。次の中から該当するものを1つだけ選んで□にご記入ください。

- | | | |
|-------------|------------|----|
| ① ほとんど毎日食べる | ③ 週2～3日食べる | Q2 |
| ② 週4～5日食べる | ④ ほとんど食べない | □ |

Q3 あなたの家族構成についてお答えください。

あなたが同居している方はあなたを含めて何人ですか。

Q3

あなた含めて □ 人

Q4 家族と同居している方（Q3で2人以上と答えた方）のみお答えください。

朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。次の中から該当するものを1つだけ選んで□にご記入ください。

- | | | |
|-------------|-------------|----|
| ① いつも一緒に食べる | ④ 週に1日程度食べる | Q4 |
| ② 週に4～5日食べる | ⑤ ほとんど食べない | □ |
| ③ 週に2～3日食べる | | |

Q5 家族と同居している方（Q3で2人以上と答えた方）のみお答えください。

夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。次の中から該当するものを1つだけ選んで口にご記入ください。

- ① いつも一緒に食べる ④ 週に1日程度食べる
② 週に4～5日食べる ⑤ ほとんど食べない
③ 週に2～3日食べる

Q5

◎資料3を読んでお答えください。

資料3

「食事バランスガイド」：「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの

「食生活指針」：望ましい食生活を実践するための指針

「日本人の食事摂取基準」：1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの

「6つの基礎食品」：栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの

「3色分類」：食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの

Q6 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。次の中から該当するものを3つまで選んで口にご記入ください。

- ① 食事バランスガイド ⑤ 「3色分類」
② 「食生活指針」 ⑥ その他の指針
③ 「日本人の食事摂取基準」 ⑦ 特に参考にしていない
④ 「6つの基礎食品」 ⑧ わからない

Q6

--	--	--

◎資料4を読んでお答えください。

資料4

「主食」：ごはんやパン、めん類などの穀類で、糖質エネルギーの供給源となるもの

「主菜」：魚や肉、卵、大豆製品など、たんぱく質や脂質の供給源となる副食（おかず）

「副菜」：野菜や海藻を中心とした、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う副食（おかず）

Q7 あなたは、主食・主菜・副菜を三つそろえて食べるのが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。次の中から該当するものを1つだけ選んで口にご記入ください。

- ① ほとんど毎日食べる ③ 週に2～3日食べる
② 週に4～5日食べる ④ ほとんど食べない

Q7

◎資料5を読んでお答えください。

資料5 **メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）**とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。

Q8 あなたは、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）という言葉やその意味を知っていましたか。次の中から該当するものを1つだけ選んで口にご記入ください。

- ① 言葉も意味も良く知っていた
② 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
③ 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった
④ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
⑤ 言葉も意味も知らなかった

Q8

Q9 あなたは、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のために、**(1)適切な食事、(2)定期的な運動、(3)週に複数回の体重計測のいずれかを**実践していますか。次の中から該当するものを **1つだけ**選んで口にご記入ください。

- ① 実践して、半年以上継続している
- ② 実践しているが、半年未満である
- ③ 時々気をつけているが、継続的ではない
- ④ 現在はしていないが、近いうちにしようと思っている
- ⑤ 現在していないし、しようとも思わない

Q9

Q10 あなたは、噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか、それとも関心がありませんか？次の中から、該当するものを **1つだけ**選んで口にご記入ください。

- ① 関心がある
- ② どちらかといえば関心がある
- ③ どちらかといえば関心がない
- ④ 関心がない
- ⑤ わからない

Q10

Q11 あなたは、ふだんの食生活において、よく噛んで、味わって食べていますか？次の中から該当するものを **1つだけ**選んで口にご記入ください。

- ① 食べている
- ② 食べていない
- ③ わからない

Q11

Q12 あなたは、農林漁業体験を経験したことがありますか？次の中から該当するものを **1つだけ**選んで口にご記入ください。

- ① ある
- ② ない

Q12

※農林漁業体験とは、農林漁業者等による農林漁業体験や子ども農産漁村交流プロジェクト等体験活動のこと。

Q13 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方がよいかや、どのような調理が必要かについての知識がありますか。次の中から該当するものを **1つだけ**選んで口にご記入ください。

- ① 十分にあると思う
- ② ある程度あると思う
- ③ 分からない
- ④ あまりないと思う
- ⑤ 全くないと思う

Q13

Q14 あなたは、日頃の食生活の中で悩みや不安はありますか。

悩みや不安を感じていれば、次の中からいくつでも選んで口にご記入ください。

(※悩みや不安は感じていない方、わからない方は、該当するものを1つだけ選んでください。)

① 自分の健康について

⑤ 将来の食糧供給について

② 家族の健康について

⑥ 食文化の継承について

③ 家計や食費について

⑦ 食べ残しや廃棄など環境への影響について

☆食品の安全性について

※⑧ 悩みや不安は感じていない

④-1 農薬

※⑨ わからない

④-2 食品添加物

⑩ その他 ()

④-3 BSE

④-4 食中毒

④-5 放射性物質

④-6 その他 ()

Q14

最後に、御回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて伺います。

1. 性別

男性

女性

2. 年齢

(平成24年 月 日現在で) 歳

3. いわき市における食育の推進について、御意見や御要望がありましたら、ぜひ御記入ください。

～ 御 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た ～



いわき市保健所地域保健課
〒973-8408
いわき市高坂町四方木田 191 番地
TEL27-8594 FAX27-8607